

# 視覚障害者向け録音図書製作のための 視覚的資料および専門書の音訳技術研修会

## 実施要項

1. 主催 社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター  
後援 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会

### 2. 開催目的

近年、ICTの発達に伴い、視覚障害者の方々も電子書籍を手軽に合成音声で聴く読書方法が広がりつつある中、今後、音訳ボランティアに期待される役割は、合成音声では読み上げが難しい図、表、グラフ、イラスト、写真等の視覚的資料、および教科書・教材をはじめとする専門書の情報保障へ移行していくことが予測されます。

しかし、視覚的資料や教科書の音訳には専門的な知識と技術が必要であり、全国的に見てもこれらの技術を有している音訳ボランティアの数は決して多くはありません。

そこで、当館で培ってきた視覚的資料および専門書の音訳技術を各地の音訳ボランティアと共有し、専門音訳者と専門音訳資料の拡大を図ることを目的として、本研修会を実施いたします。

### 3. 日程・開催会場

第1回	12月10日(木)・11日(金)	日本ライトハウス情報文化センター(大阪市内)
第2回	2016年1月28日(木)・29日(金)	宮城(仙台市内)
第3回	2016年2月25日(木)・26日(金)	福岡(福岡市内)
第4回	2016年3月10日(木)・11日(金)	東京(23区内)

### 4. 定員・参加対象者

○定員 各会場30人

○参加対象者 発声、発音、アクセントなど音訳の基礎を習得しており、次のいずれかに該当する方。

- ・図、表、グラフ、イラスト、写真等の視覚的資料の音訳をしたことがある方。
- ・教科書・教材など専門的な資料の音訳をしたことがある方。
- ・上記に該当しないが、今後、積極的に視覚的資料の音訳にチャレンジする意思のある方。

## 5. 研修内容（一部、実習を交えながら、学びます）

- ・視覚的資料の音訳とは一図、表、写真、グラフなどの処理技術とスキルアップー
- ・視覚的資料の事例と処理についての考え方ー具体例で学ぶー
- ・視覚障害児童生徒のための「音訳教材」とは
- ・専門書の音訳に必要な知識と活動事例
- ・音訳と合成音声の融合で実現するアクセシブルな電子書籍『ハイブリッドメディア』とは
- ・視覚障害者等の情報環境と専門音訳者に期待される役割

## 6. 申込方法・締切・決定通知

- ・応募要項および申込書は、当センターホームページ（<http://www.iccb.jp/>）からダウンロードが可能です。
- ・次のいずれかの方法でお申し込みください。
  - ①申込書を下記締切日までにメールまたはFAXで送信（当日消印有効）。
  - ②ホームページのお申し込みフォームにて送信。
- ・メールの場合は、件名を「音訳技術研修会申込」としてください。
- ・申し込み多数の場合は選考となります。

回数	会場	申込締切	決定通知（発送予定日）
第1回	大阪会場	10月30日（金）	11月10日（火）
第2回	宮城会場	12月11日（金）	12月21日（火）
第3回	福岡会場	2016年1月15日（金）	2016年1月26日（火）
第4回	東京会場	2016年1月29日（金）	2016年2月9日（火）

※ 決定通知日より1週間が過ぎても連絡のない場合は、事務局までお問い合わせください。

## 7. 修了証の授与

2日間のカリキュラムをすべて受講・修了した方には修了証を授与します。

## 8. 研修費

1,000円（資料代）

## 9. お問い合わせ（事務局）

社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター 製作部 瀧沢・久保田  
〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2

TEL: 06-6441-1035 FAX: 06-6441-0095 E-mail: [onyaku@iccb.jp](mailto:onyaku@iccb.jp)

※ 受付時間：火～金曜日（祝日を除く）／10:00～16:30